

千葉県議会議長 様

ちば高校生県議会 政策提言書

令和7年7月28日

ちば高校生県議会

私たち、ちば高校生議会は、未来を担う世代として、より良い地域社会の実現に向けて、以下の提言を千葉県議会に提出いたします。

○若者の政治参加について

＜投票率低下への対策＞

- SNSの活用については、個人広告が出せず、党としての抽象的な政策しか表せないため、個人でCMや広告を出せるようにして、正しい情報と政策を広める。
- 適当な候補者や政党がない場合に白票や投票に行かないという事態を減らすために、該当する公約がないために支持をしないという投票ができる不支持票制度を導入する。
- 投票意識向上のために、投票証明書で割引ができる選挙割を学生ボランティア以外にも拡大させる。
- 投票できる場面を増やすために、インターネット投票を行うようにする。

＜若者の当事者意識低下への対策＞

- 学生期からの主権者教育が不足していることから、選挙・政治への明瞭な知識を身につけ、自身が政治の当事者であるという意識を持つため、小中学校で模擬選挙や公約についての意見交換を実施するなど、実践的な政治教育を通して、自分が主権者である意識を芽生えさせる。

＜政治家の主張がわからないことへの対策＞

- 政治家の主張を理解しやすくするために、電車・階段・バスなどの目につきやすい場所での広告を増やし、今までのポスターに加えて子供にわかりやすい言葉でまとめたポスターを作る。
- 政権公約が一目で見られるよう、公式まとめサイトを作成する。
- デリバリー議会を学校で開催してもらうなど、政治家を身近に感じる取組をする。

○魅力ある千葉県づくりについて

千葉県は自然が豊かで、歴史や文化など多くの魅力を有する地域である。

しかし、その魅力が県民を含め、十分に知られておらず、SNSでの情報発信力の弱さや知名度の低さが課題となっている。

これらのデメリットを改善するために、SNSを活用した広報活動が重要である。

また、千葉の魅力を認識することが、よりよいPRにつながるため、地域の異なる学生同士が交流する機会を増やすことで、若い世代間での地域への理解や関心が深まり、地元発の情報発信の強化につながると考えられる。

これらの取組を通じて、千葉県の認知度向上と地域活性化を目指す。

<千葉県の認知度向上及び地域活性化への取組>

- スポーツチームと連携した千産千消フェアの開催やチーバくんを活用した様々なPRを行う。
- チーバくんの活用方法として、ご当地チーバくんを作成するほか、チーバくんのポスターや装飾を使い、電車広告や成田空港のジャック、船のデコレーションを行う。
- インスタグラムなどのショート動画や、ユーチューブなどのSNSを活用して、チーバくんと一緒に知事や地元の高校生、千葉由来のインフルエンサーがダンスをしたり、地域のおすすめスポットなどを紹介する。
- 体験学習として、県内の学生による交換留学、お祭りやサーフィンなどの体験、他校の学生とのバスツアー、高校生が自分の学校を紹介する展示を行う「ちば高校生万博」を行う。

○少子高齢化について

<子育て世帯のための経済対策>

- 子育て世帯の使えるお金を増やすために、可処分所得の増加や減税などの経済対策に取り組む。

<子育て窓口の周知>

- 子育て相談については、相談できる場所がない、相談のハードルが高いなどの問題があることから、気軽に相談できるSNS窓口の告知・広報などの施策として、「ユーチューブ」、「テレビCM」、「駅をはじめとした公共施設へのポスター掲示」などに取り組む。

<子育てのための環境整備>

- 母親の精神的な孤立などの課題があることから、公共施設を利用した交流ができるような企画の開催などに取り組む。